

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 H1組 H2組 F組 A組

使用教科書：二宮書店「わたしたちの地理総合 世界から日本へ」

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1. 地図とGISの活用 【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・球面上の世界 ・国家の領域と領土問題 ・国内や国家間の結びつき ・日常生活のさまざまな地図	【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1 学 期	<p>2 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解し、人々の生活文化が、自然環境や、社会環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性、変容、国際理解について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・自然環境と生活文化 ・産業の発展と生活文化</p>	<p>【知識・技能】 ・ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し、自然環境が人々の生活文化や産業、伝統の形成などに深く関わり、また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。</p> <p>・地形図や雨温図、主題図、写真から情報を読み取り、地形・気候の特徴や土地利用、経済活動の発展を捉えることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 ・地形や気候のなりたちについて、その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。</p> <p>・ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え、生活文化や産業との関連性を比較しながら共通点や相違点を考察し、整理して表現することができる。</p> <p>・地形を活かした人々の暮らしの特徴・自然環境と人々の生活文化の関係性について、写真や地形図、雨温図、主題図などから捉え、複数の資料を関連させながら考察し、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわり、我が国の国土に関する諸課題、諸資料の読み取りについて、興味・関心をもち、意欲的に授業に臨んでいる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>2 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解し、人々の生活文化が、自然環境や、社会環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性、変容、国際理解について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・言語・宗教と生活文化 ・グローバル化の進展と生活文化</p>	<p>【知識・技能】 ・世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係やそれらが関わる現代社会の諸課題の背景や現状を、資料から読み取ることができる。</p> <p>・世界の多様性と日本とのつながりを考え、異文化を尊重する態度が重要であることを理解できる。</p> <p>・地域統合やグローバル化による成長と課題、生活文化の変容について、主題図や写真などの資料から読み取ることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・世界の言語・宗教、民族の空間的な分布とその要因、それらに関わる現代世界の諸課題を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。</p> <p>・現代世界における言語・宗教について、グローバル化や情報化によって自身の生活も含めて、変容している部分と変容していない部分を比較したり、多文化共生社会について事例を整理・考察しまとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・世界の言語・宗教の多様性、民族と生活文化に関わる現代世界の諸課題について、日本との関わりにも興味・関心をもち、それらについて諸資料から積極的に調べようとしている。</p> <p>・多文化共生社会の実現方法や地域統合、グローバル化の在り方について議論し、自分の意見をまとめている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

	<p>3 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識・技能】 世界各地で見られる環境や食糧問題などを基に、地球的課題の共通点や相互の関連性を理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりに着目し、主題を設定したうえで、多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 持続可能な社会と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口・食料問題 ・居住・都市問題 ・資源・エネルギー問題 ・地球環境問題 	<p>【知識・技能】 世界各地で見られる環境や食糧問題などを基に、地球的課題の共通点や相互の関連性を理解しており、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりに着目し、主題を設定したうえで、多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 持続可能な社会と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>4 生活圏の諸課題</p> <p>【知識・技能】 ・生徒の生活圏の自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりについて理解する。 ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図などの各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。 ・私たちのまちの防災対策について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、「生活圏の地域性を踏まえた防災対策」などの主題を設定し、「自然災害に備えるために、私たちはどのような対策を取るべきか」などを、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 持続可能な社会と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と防災 ・持続可能な地域づくり 	<p>【知識・技能】 ・日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性、災害、地域の特徴などについて、主題図やグラフ、写真などの資料から理解できる。 ・自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて、新旧地形図やハザードマップなどを読み取ったり、地域調査の一連の手順を理解し、生活圏の課題を見つめたりするスキルを身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 ・日本列島における自然災害の要因と特徴、地域性を考察し、世界の災害と比較しながら課題の所在について考察できる。 ・自らの生活圏について、新旧地形図やハザードマップ、GISなどを活用しながら防災・減災について考察したり、身近な地域の魅力や課題を見出したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ・身近な地域にさまざまな魅力や課題があることを見出し、意欲的に地域調査に取り組んでいる。 ・身近な地域の将来構想案を検証するために、現地調査や資料による事後調査を主体的に行い、探究することができる。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							53

令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	公民科	対象クラス	○ 必修	単位数	2単位
科目	現代社会	2学年全クラス	必修選択		
使用教科書 使用教材	最新現代社会 新訂版				
評価の 観点・方法	①定期考査 ②出席状況 ③授業態度 ④ノート・レポートの提出状況 ①～④を総合的に判断し評価する。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	「わたしたちの生きる社会」 1. 地球環境問題	・現代社会に関する課題を様々な観点から追究し、現代社会への関心を高め、いかに生きるかを考えられる。	・地球温暖化をはじめとする地球環境問題と人間の活動との関連について考えさせる。 ・環境破壊を止める取り組みを確認する	4
	5	2. 資源エネルギー問題	限りある資源について理解し、持続可能なエネルギーについて考え、将来の世代について考えられる。	SDG'sの達成や低炭素社会実現にむけて自分が何ができるか考えさせる。(中間考査)	7
	6	「現代の社会と人間」 1. 現代国家と民主政治	民主的な国家の成立過程を学びどのような思想がもとになっているか理解する。	『民主主義って何だろう?』のリーフレットを活用し、民主政治の基本原則を学ぶ。(主権者教育)	8
	7	「現代の社会と人間」 1. 現代国家と民主政治	世界の主な政治制度を比較し、その違いや共通点について理解する。	国民主権は公正な選挙によって実現されることを学ぶ。(期末考査)	3
	8				
2 学期	9	「現代の社会と人間」 2. 現代の民主政治と日本国憲法	民主主義の基本について学び、民主政治の実現方法とその課題について考えられる。	民主政治のしくみ。 世界のおもな政治制度。	6
	10	「現代の社会と人間」 2. 現代の民主政治と日本国憲法	日本国憲法の成立過程を学び、3つの基本原理を理解できる。	日本国憲法の基本的性格。 基本的人権。 (中間考査)	8
	11	「現代の社会と人間」 2. 現代の民主政治と日本国憲法	平和憲法のもと、防衛問題について考えらる。 日本の政治機構について学び、主権者意識をもつ。	平和主義とわが国の安全 日本の政治機構と政治参加	6
	12	「現代の社会と人間」 2. 現代の民主政治と日本国憲法	地方自治について確認し、住民のための政治には何が必要か考える。	地方自治と住民福祉 (期末考査)	3
3 学期	1	「現代の社会と人間」 3. 現代の経済社会と国民生活	資本主義経済の発展過程を学び、経済のしくみについて理解する。	現代社会の変容 現代経済のしくみ	6
	2	「現代の社会と人間」 3. 現代の経済社会と国民生活	現代の企業、金融、財政を概観させ、その課題について考える。	現代の企業 金融の役割	8
	3	「現代の社会と人間」 3. 現代の経済社会と国民生活	日本経済の特質と国民生活を考え、日本農業の課題と解決について考える。	日本経済のあゆみ(農業) (学年末考査)	3

令和4年度(2022年度) 年間指導計画

教科	地理歴史科	対象クラス	○ 必修	単位数	2単位
科目	日本史A	三年生全員	必修選択		
使用教科書 使用教材	教科書:清水書院「高等学校 日本史A」 資料集:第一学習者「最新日本史図表 四訂版」 副教材:東京都教育委員会「江戸から東京へ」				
評価の 観点・方法	①出席状況 ②授業態度 ③ノート提出・定期テスト(期末) ①～③を総合的に判断し評価するが、欠席が多かったり、提出物で未提出が多いときは評価が1となることがある。				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	・現代につながる歴史 ・江戸幕府の諸制度	現在の東京の様子と江戸の様子を比較して、現代と歴史の関連性を実感させる。	・江戸から東京へ ・幕藩体制	4
	5	・国際環境の変化と幕藩体制の動揺	日本史が世界史の流れの中で展開していることを理解させる。	・商品によって結びつく全国 ・社会の混乱と幕府の建て直し ・開国の影響 ・(中間考査)	7
	6	・明治維新と近代国家の形成	開国・明治維新を経て日本が近代国家となる過程を、資本主義の発展や生活と文化などに着目させて理解させる。	・商品によって結びつく全国 ・社会の混乱と幕府の建て直し ・開国の影響 ・明治維新	8
	7	・立憲政体の成立と国際的地位の向上	立憲政体が成立する過程を理解し、その意義や与えた影響を考察させる。	・自由民権運動と政党 ・松方財政 ・立憲政体の確立 ・(期末考査)	3
	8				
2 学期	9	・政党政治の展開	日清・日露戦争を経て、日本国内の政治・経済・社会がどのように変化したのかを理解させる。	・日清戦争 ・日露戦争 ・桂园時代	7
	10	・二つの世界大戦	諸外国との関係性の変化や国内の政治・経済・社会の変化についての理解を深める。	・明治期の思想・学問・文化 ・第一次世界大戦 ・(中間考査)	8
	11	・二つの世界大戦	諸国間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動揺、アジア近隣諸国との関係などに着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変動や、国際協調と軍縮を理解させる。	・国際協調 ・世界恐慌 ・満州事変 ・日中戦争	6
	12	・二つの世界大戦 ・現代の世界と日本	国際社会の変化と日本国内の変化について学び、現代の国際社会への理解を深める。	・太平洋戦争 ・日本の占領政策 ・日本国憲法の制定 ・(期末考査)	2
3 学期	1	・現代の世界と日本 ・21世紀の世界と日本	東西冷戦や紛争などから、現在の国際社会の課題や現状を考察させる。	・冷戦 ・高度経済成長 ・東京オリンピック・パラリンピック	3
	2			・(学年末考査)	3
	3				